



寺岡 公章

- コロナ禍における児童生徒の様子について

山本 孝三

- コロナウイルス感染防止・支援対策について
- 谷和地区のオオサンショウウオの保護について

和田 芳弘

- 空家等対策について

小中 真樹雄

- 小学校・中学校の授業消化について問う
- オンライン授業の準備状況について問う

原田 孝徳

- 福祉施設や事業所における介護職員の一つの基準を示すための表彰制度について

日域 究

- コロナのせいで見えた麴町中学校。ギガスクール構想って何ですか

網谷 芳孝

- 玖波地域の活性化のための玖波駅のエレベーター設置について
- 大竹市立の小学校・中学校の学校選択制について

西村 一啓

- 第5次総合計画の今後の取組や予定及び計画について

答 教育長 ①久しぶりの学校生活を楽しむ、落ち着いて授業を受けて

問 ①臨時休校明け、この約1週間の児童生徒の様子はいかがですか。特に小中の新1年生についていかがでしょうか。
 ②休校前と明けて、登校できない児童生徒に変化はありますか。
 ③休校中のネグレクトやDVなど、児童虐待につながる相談や情報はありましたか。
 ④学力定着について、今後の学校での取り組みをどう工夫しますか。
 ⑤ご家庭にご協力いただく点などを交え、アフターコロナを意識した学校生活をご紹介ください。

コロナ禍における児童生徒の様子について



寺岡 公章



登校する子ども達

います。1年生も少しずつ慣れてきているようです。
 ②少人数での授業や担任教員の丁寧な指導で気持ちが安定し、6月からも登校できてきている児童生徒もいます。
 ③児童虐待の相談や情報は、現時点ではありません。
 ④可能な限り授業時数を確保します。学習内容の定着状況を把握して、補充の授業や家庭学習で学習の遅れを補うよう努めます。
 ⑤家庭では、毎朝の検温と健康観察、マスクの着用、発熱等の場合は登校しない等の協力をしていただいています。今後も基本的な感染対策の継続をお願いしたいと思います。学校では、様々な場面で「新しい生活様式」を取り入れた対応をしています。



山本 孝三

新型コロナウイルス対策について

問 予防・検査体制の充実・強化が求められます。大竹市内の医療機関で抗体検査の実施・予防措置の強化について、また、市民生活・教育・医療・介護の各行政分野に対する一層の支援を検討されるべきです。市長の対応を伺います。

答 市内の医療機関での検査等はできませんが、検査体制強化の指針が国から示され、県でも検査体制の拡充に取り組んでいると聞いています。

支援については、国の財源を活用しながら、優先度の高い支援を着実に進めるよう検討していきます。

オオサンショウウオの保護について

問 谷和地域における大規模太陽光発電事業が開発業者の開発計画申請どおり許可されました。飲料水の汚染・河川災害・オオサンショウウオ（特別天然記念物）への環境悪化・命の水の汚染等、市民の心配は深刻です。市教育委員会としてオオサンショウウオの保護にどう取り組みますか。

答 教育長 国の特別天然記念物のオオサンショウウオは国民全体で守っていく必要があります。市教育委員会としても、全国の様々な地域で主に住民主体で行われている保護活動を参考として、地域住民の皆様への保護活動の支援や連絡体制の構築に努めたいと考えています。



和田 芳弘

空き家対策について

問 現在、市内にも空き家が多くみられ、老朽化した危険な空き家もある。市街地における特定空き家等の認定状況を問う。

また、空き家の有効利用について、大竹市では、目立った損傷が認められない空き家は300件近くあると思われる。空き家バンクを設置し、空き家の情報を提供するとありますが、空き家の所有者に活用等に関するアンケートを取るべきではないでしょうか。

答 平成29年度の調査により老朽度が高いと判定した空き家のうち、危険度が高く近隣への影響度も高い11件を特定空き家等の候補として、所有者の調査を行い、順次、特定空き家等に認定していきます。所有者が家屋を解体することが第一と考え、認定前に所有者をしっかりと把握し、指導

助言を中心に対応しています。現在、空き家バンクへの登録はなく、十分な活用には至っていません。現状の打開には、空き家補助制度の拡充や、議員御提案の空き家所有者への意向調査と、その後の所有者対応などの取組に加え、定住促進やまちづくりの視点での空き家の活用も必要と考えていますが、様々な課題もあり、今後検討したいと思っています。

解説 特定空き家等とは、建物全体の損傷が激しく倒壊の危険の高い空き家のこと



空き家バンクポスター



小中 真樹雄

小・中学校の授業
消化について問う

問 小・中学校の授業消化が遅れています。①夏休みの短縮規模、冬休みはどれくらいになりますか。②土曜日の授業実施は。③夏休みに授業を行うとして、エアコン設置率は。④児童生徒の健康管理や教員の方のサポート体制はどのように考えられていますか。⑤授業の遅れによる受験生の不安にどう応えていきますか。

答 教育長 ①休業日は夏季が8月1日から23日まで、冬季は未定です。②児童生徒の負担等を考慮し、実施予定はありません。③普通学級は設置済みですが、特別教室は未設置の所があります。④熱中症等に注意し感染症対策を行い、教職員へは、休暇を取得しやすくするなどします。⑤個別の教育相談を実施し、受

験生の進路への不安等の解消に努めます。

オンライン授業の
準備状況について問う

問 新型コロナウイルスの第2波に備えたオンライン授業への準備について問います。①タブレットの配備状況は。②また教員の方の習熟度は。③Wi-Fi環境のない家庭へのサポートは。早急な体制構築が不可欠ではないでしょうか。

答 教育長 ①配備数が多い学校でも1学級分程度で、今年度中に1人1台の端末整備を目指しています。②教職員の技能に個人差があるため、研修を実施予定です。③今後調査して実態を把握し、対応を検討します。



体験授業で説明を聞く児童

福祉施設等、介護職員の
表彰制度について



原田 孝徳

問 福祉施設等を利用するとき、介護職員の実務経験等の情報を知ることが意外と難しいため、その一つの基準を示すものとして表彰制度を提案する。

この制度は、本市在住の国家資格を有する介護職員を対象に、勤続年数に合わせて表彰するもので、国の処遇改善や介護職員不足の問題を解消し、地域の高齢者は地域でみる。生まれたいところで、良い環境のもと最良のサービスを受ける。これを当たり前にするため、本市に経験豊かな介護職員を確保する上で必要である。

このような制度の導入についてと超高齢化社会を迎えるにあたり、介護職員不足の問題を本市はどのように考えているか問う。

答 介護職員の人材不足の解決には、処遇改善が必要です。しかし、特定の介護職員への市独自の取組は、他市町で同様の制度ができたときの介護職員の流出や、際限のないサービスの合戦等が懸念されます。国全体の課題として、制度的に底上げされることが最優先と考えます。処遇改善加算額の増額など、国の制度改正の効果に期待したいと思えます。

事業所を選ぶ判断基準は人によって様々ですが、法の基準を満たし、安全で安心して利用できることが大前提です。市は、県と定期的に実地指導を行い、全事業所が一定以上の水準を保つよう努めています。また、事業所間の連携を目的とした「訪問介護事業所連絡会」は、専門性の高い介護職員の定着、資質の向上等が期待でき、今後も開催する予定です。





日域 究

情報教育をどう推進しますか

問 数年間での整備計画が出来た直後にコロナ休校となり、学校への1人1台のタブレット導入が一気に進むことになりました。問題はソフトをどうするか、家庭のLANをどうするか。これは大竹市の問題です。

パソコンはソフトが命です。日本教育新聞によれば、正の整数、負の整数と言う単元に今は20時間も掛けているとか。東京の区立麹町中学校の例ではこれらの理解に業者ソフトを使えば大幅な時間短縮になるそう。学力保証とは言うものの今は授業時間の確保まで。真に学力を保証するためにも、この機会を生かして一気に学校を変えませんか。広島県教育長も強く推進しています。人口の割に子どもの少ない本市はある意味で有利、さあどうしますか。

答 教育長 個別最適化された学習環境の実現のため、児童生徒と教職員に1人1台の端末を、当初の予定を前倒しして今年度中に整備し、具体的な活用計画も各学校で作成する予定です。

1人1台端末やデジタル教材などを効果的に活用することで、児童生徒一人一人に合った主体的で効率的な学習が可能になると考えます。ただし、対面や協働による地道な学習の積み重ねで身に付く能力もありますので、ツールの一つとして効果的に使いながら学力向上に繋げていきたいと思えます。

時代の変化を見通しながら、将来を担う子どもたちを育てていく覚悟をしっかりと持って教育行政を進めていきます。



文科省のホームページより



網谷 芳孝

玖波地域活性化に伴う駅エレベーター設置について

問 玖波地域は他地域に比べ人口減少率が進んでいますが、これは、玖波地域だけではなく、大竹市全体の衰退に繋がると、大変危惧しています。

この状況下において、玖波地域の活性化として、高齢者等のため、玖波駅のエレベーター設置について意見を伺います。

答 玖波駅は改札口を両方に設けたことから、エレベーターの設置は、当面は困難と考えています。しかし、人口減少は大きな課題であり、市の魅力を高め、人口減少抑制につながる取組を議員・市民の皆様と力を合わせて進めたいと考えています。



玖波駅東口

大竹市立小学校・中学校の学校選択制について

問 ここ数年、玖波学区から他学区へ通う児童生徒の方が多くみられ、大変気になります。教育の一環として、地域と関わることは、重要だと思いますが、教育委員会として考えを伺います。

答 教育長 学校選択制度は、毎年一定の申請があり、必要な制度と認識しています。各学校でも地域への理解を深めるとともに、地域への愛情を育む学習を行っていますので、これからも地域の皆様が児童生徒に対し、温かく関わってくださるようお願いいたします。

問 安全で安心して暮らせるまち、住んでみたい、住んで良かったと感じるまちは誰もが望むところです。

今後のまちづくりに係る以下の課題について、取り組みや実施計画を問う。

①旧小方小学校・旧小方中学校跡地周辺地域の開発計画や、晴海臨海公園施設の更なる整備計画について

②中市立戸線へ接続する駅前油見線の整備計画や、国道2号から玖波地区に入る右折レーンの確保や、玖波と廿日市市鳴川地域を結ぶ道路計画はあるのか

③新町三丁目地域周辺の宅地問題と進入路新設計画及び雨水排水問題に絡む新町ポンプ場設置の取り組みについて

第五次総合計画の取り組み
予定及び計画について



西村 一啓



旧小方小・中学校周辺地域

答 ①現在、未来のまちづくりの方向性を示す大竹市まちづくり基本構想等を策定しています。小方のまちづくりなど、どのような施策が必要かを考え、困難に備えつつも、夢や希望を持てるまちを市民の皆様と一緒につくりたいと考えています。

②駅前油見線の整備は、市民も期待しており、今後は優先度を踏まえ判断していきます。玖波地区の国道2号からの右折レーンの設置は、広島県を通じて国へ要望していくものと考えます。玖波と鳴川地域を結ぶ道路計画は、廿日市市との調整により、今後具体的な話が進むと考えています。

③公共インフラ整備により、民間での開発が考えられるので、市が道路あるいはポンプ場の整備を今後実施することは、非常に重要と考えます。

第2回市議会（臨時会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	細川雅子	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	寺岡公章	山本孝三	審議結果
議案第38号 令和2年度大竹市一般会計補正予算(第4号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号 令和2年度大竹市土地造成特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号 議会の議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号 市長、副市長及び教育長の期末手当の特例に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

第3回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案第53号 市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号 大竹市重度心身障害者医療費支給条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号 大竹市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び大竹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号 令和2年度大竹市一般会計補正予算(第5号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

一：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 △：除斥（地方自治法第117条の規定により審議に参加できない。）